

富山県 中央植物園だより



ギンリョウソウ *Monotropastrum humile* (ツツジ科)

落ち葉の中から突然表れる白い姿にユウレイタケという別名もありますが、れっきとした植物です。光合成をせず、土中の菌類からこっそり栄養を頂いて生きています。

植物写真展 「微妙な植物「ギンリョウソウ」」 撮影 / 守山 泰史さん



なんの花？

答え：パラグアイオニバス

水生植物では世界最大といわれる大きな葉をもつパラグアイオニバスは、スイレン科オオオニバス属の植物で、南アメリカの熱帯域に分布します。毎年夏にはたくさんの子どもたちを葉に乗せるパラグアイオニバスですが、どんな花が咲くのか知っている方は少ないのではないでしょうか。なぜならこの花は夜咲きで、閉園後に開き始めるから。じゃあ絶対見られないじゃん…と思った方、ご安心あれ。8月の夜間開園「夜の熱帯植物探検」でチャンスがありますよ！

Reports イベント報告

第42回ツツジ・シャクナゲ展

4月19日～21日に開催されたツツジ・シャクナゲ展では、日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部の会員が丹精込めて育てたツツジやシャクナゲが150株展示されました。これだけ



来場者を迎える大株のシャクナゲ

の株が一堂にそろふ機会は全国的にも珍しく、日本最大規模の展示会です。会場の入り口には大株のシャクナゲが並び、サンライトホールに入ってくる来場者を楽しませていました。シャクナゲ

は冷涼な気候を好み、栽培が難しいとされてきましたが、最近では耐暑性に優れた園芸品種が作られ、一般にも広く栽培されるようになりました。

日本にもホンシャクナゲやホンソバシャクナゲ、ツクシシャクナゲなどが自生していますが、花の美しさから各地で乱獲され、残念ながら自生地は減少しつつあります。山で見かけた時は目で楽しむのにとどめて、そっと見守りたいものですね。(西村幸芳)



山野草と寄せ植えにした可愛い一鉢も

私の植物画展

植物画はボタニカルアートとも呼ばれ、単に植物を描いたものではなく、植物学的に精密に植物のつくりを観察しながら描いた作品で、なおかつ芸術的にも鑑賞価値のある作品を指します。5月10日～29日に行われた本展では、全国から応募のあった113点の作品が展示され、虫食いの葉や実に焦点をあてたも



ポスター画は昨年度応募作品から選ばれます

のなど、個性豊かな作品が並びました。当園では平成5年の開園以来、植物画の普及を図ってきました。公募の作品展ではコンクール形式が多いのですが、「私の植物画展」

は作品の優劣を競うのではなく、初心者から指導者までの作品を一堂に展示することにより、出展者は自分の課題を見つけ出す機会にもなっています。(西村幸芳)



全国の植物画愛好家の作品がずらり

Topic 植物園裏話

ボタニカルカラーのしおり誕生秘話

最近SNSなどでミュージアムショップのオリジナルグッズが話題になることがしばしばあります。うちにもそんな商品が欲しい!という思いから、現在、若手(?)の職員を中心に新商品を企画開発中です。そんな中で生まれたのが植物色素を使ったボタニカルカラーのしおり。始まりはアンデスの青い宝石ともいわれるテコフィラエア・キアノク



テコフィラエアの花

ロクスの花から職員Hが抽出した色素でした。何かに使えないか、と鮮やかな青色の粉末を見せられた職員N(私です)はピンとききました。「これでしおりを

作ったらめっちゃ素敵じゃない!?!」。さっそくしおりのデザインを考えて印刷し



記念すべきしおり第一号!

たものに塗ってみると…あれ?なんか色が違う…。天然の色素は非常に繊細で、紙のpHや色素を溶く溶媒により思った色が出ないことが多々あります。これまでテコフィラエアの他にトウツバキ、ソメイヨシノ(樹皮の色素を使用)、チューリップ、フジのしおりを制作しましたが、それぞれに紙や溶媒との相性が違い、毎回本当に苦労しました。今後も四季折々のしおりを展開していく予定ですでお楽しみに。オリジナルグッズが当園や植物に興味をもってもらえるきっかけになればという思いを胸に、今日も職員の試行錯誤は続きます。

(西村幸芳)

News 園内ニュース

ボマレア・オヴァレイ開花

あれは12年前、中公新書の『カラー版 世界の四大花園 行く一砂漠が生み出す奇跡』（野村哲也 著）を読んだときに知ったのが、「ガラ・デ・レオン」（スペイン語で「ライオンの爪」）ことボマレア・オヴァレイでした。同書では日本人の著者が「世界で一番美しい花は何か」とチリ人と言い合いになった際、相手方が挙げたのがこの植物でした。いわれてみれば確かにアルストロメリア科の花ですが、赤いチューリップにも似た深紅の花がくす玉のように固まって、岩だらけの崖に咲いている姿に感銘を受け、いつか実物を見てみたいと思ったのでした。時が経ち昨年、取引先の種苗カタログに、なんと！本

種の名前があるではありませんか！これはぜひ多くの人も見てもらいたい！その一心で導入し、今春開花にこぎつきました。高山・絶滅危惧植物の岩場にそれらしくレイアウトした“赤きライオンの爪”が、多く



世界一美しいとわれるのも納得です

（早瀬裕也）

Events 注目イベント

特別展「お茶ってなんだろう」

9月6日（金）～10月9日（水）

チャノキは世界的に重要な工芸作物のひとつであり、お茶として世界中で利用されている植物です。最近では健康増進やリラックス効果など、単なる嗜好品としてだけではなく、お茶のもつ力にも注目が集まっています。しかし、チャノキがどんな植物なのかや、身近なお茶がどうやって作られるの



10月に園内で見られるチャノキの花

かなどを知る機会は少ないのではないのでしょうか。この展示では植物学的な面と文化・生活面から、お茶についてパネルと体験を通してご紹介する予定です。（西村幸芳）

植物園くらぶ「ハロウィンランタンづくり」

9月28日（土）・29日（日）

例年この時期に子どもむけイベントとして開催していたかぼちゃのランタンづくりを今年はリニューアルして、センナリヒョウタンを使ったミニランタンづくりを開催します。実はひょうたんのランタンはハロウィンの本場、アメリカではかぼちゃと同じぐらいポピュラーなんだとか。腐らないので長く飾って楽しめますよ。参加申込は1カ月前からWEBで受け付けます（応募多数の場合は抽選）。（西村幸芳）



10cm ぐらいのかわいいランタンができます

Note 園内さんぽ

推しカラー

推しカラーとは、自分のお気に入りのアイドルやキャラクターなどのイメージと結びついた色のことで、その色のものを集めたり持ち歩いたりすることで、気持ちがアガったり、推しが同じ人とつながることができる色のことです。植物園には年中色とりど



セイヨウキランソウの青

りの花が咲いており、実は推し活にピッタリ！4月下旬に一面に咲く黄色いセンダイハギや5月上旬に咲くセイヨウキランソウの青、7月にはアーティチョーク



モチツツジ（園芸品種）のピンク

の紫など、少しアップで写真を撮ると、スマホの待ち受けにピッタリな全面推しカラーの写真を撮ることができます。推しの色を見つけに、植物園を訪れてみては？（西村幸芳）

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

7/10 (水)	環境省アクティブ・レンジャー 写真展—活かして護る国立公園 会場：サンライトホール
9/6 (金) → 10/9 (水)	特別展 「お茶ってなんだろう」展 会場：サンライトホール
6~7月の開花日2日間	夜間開園「ゲッカビジン観賞」 19:00 ~ 21:30 夜間入園料：250円
8/23 (金) → 24 (土)	夜間開園「夜の熱帯植物探検」 18:30 ~ 21:00 夜間入園料：250円

講演会・講習会・観察会

7/26 (金) → 8/28 (水) ※8/2 (金) - 14 (日) は休止	夏休み子ども企画「森のクラフト」 会場：サンライトホール 参加費：ひとり200円(年齢制限なし)
8/2 (金) → 14 (日)	夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 会場：北池 各日 午前9:30 ~ 午後13:30 ~
9/6 (金)	特別展オープニング解説 会場：サンライトホール 13:30 ~ 14:30
9/8 (日)	第32回 TOYAMA 植物フォーラム 会場：サンライトホール 13:30 ~ 16:00 ※要申込

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日：園長と歩く植物園
13:30 ~ 14:00 集合場所：サンライトホール

緑のコンサート

5 ~ 6月、9 ~ 11月の第3土曜日 13:00 ~
会場はサンライトホールまたは屋外(天候によります)

質問大募集

休園日の植物園ってどうなってるの？職員ならではの植物園の楽しみ方を教えて！など当植物園について気になること、聞いてみたいことなどをお寄せください。あなたの疑問が本誌記事で取り上げられるかも！? 本文に質問内容とペンネームを明記のうえ、宛先に「植物園だより係」と書いて本ページ下方の住所までハガキでお送りください。たくさんのご応募をお待ちしています！



入園案内

[開園時間] 2月~10月 9:00 ~ 17:00 (入園は16:30まで)
11月~1月 9:00 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日~1月4日)

[入園料] 大人500円 / 団体(20名以上) 400円
冬期(12月~2月) 一大人300円 / 団体240円
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファポーレ経由萩の島循環」
または「ファポーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗りし、
「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車： 富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR 速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典] ①友の会会員証で無料入園
②月例会や植物観察ツアーなど会員限定行事への参加
③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届け
④メールで最新情報をお届け
⑤印刷物やグッズの割引価格購入
⑥部会活動への参加

[年会費] ※有効期限は入会日から翌年3月31日まで
一般会員 /2,500円
シルバー会員 /1,500円(4月1日時点で70歳以上の方)
ジュニア会員 /500円(4月1日時点で高校生以下の方)
賛助会員 /20,000円(一口)

[入会のお申込み]

入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続きください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.112

令和6(2024)年6月25日発行

編集・発行/富山県中央植物園

(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/>

公式 Instagram